

週休 2 日履行確認書類作成マニュアル
(建築工事・電気設備工事・機械設備工事)
【発注者指定型】

令和 8 年 9 月

小田原市

週休2日の履行確認に必要な書類は、「提出様式.xls」により作成する。受発注者双方の作成手順及び対応方法を以下に示す。

※ 提出様式については、市のホームページよりダウンロードする。

(<https://www.city.odawara.kanagawa.jp/field/municipality/jigyoku/contract/inspection/p39251.html>)

■必要事項の入力（Excel タブ「入力シート」）

受注者作業

入力シートにおいて、黄色着色されているセルに必要事項を記入する。各記入項目に関する注意事項を以下に示す。

① 工事主管課の選択

「工事主管課」について、タブから選択する。

週休2日の実施	発注者指定型	直接入力しない
工事主管課	〇〇〇〇〇課	
受注企業名	〇〇〇〇〇課 農政課 水道課 緑地公園課 水道整備課	
受注企業代表者名	代表取締役 〇〇 ××	

② 受注者情報入力

「連絡先」は主任（監理）技術者に連絡がつく電話番号を入力する。

受注企業名	〇〇株式会社
受注企業代表者名	代表取締役 〇〇 ××
受注者所在地	小田原市〇〇
現場代理人	〇〇 ××
主任（監理）技術者	△△ □□
連絡先	090-0000-0000

③工事情報入力

「対象工期」は、現場着手日(現場事務所の設置、資機材の搬入または仮設工事等を開始した日)から、現場完成日(施工終了後の後片付け、清掃等の作業が全て完了した日)までの日付までの日付を入力する。

契約当初、現場完成日が確定しない場合は、暫定として工期末日の 20 日前の日付を入力し、現場完成日が確定次第、確定した日付を入力する。

工期が変更となった場合は、再度入力する。

工事名	〇〇〇〇〇〇建設工事													
工事場所	小田原市〇〇〇番地内													
契約工期	西暦	2025	年	4	月	1	日	～	2026	年	3	月	31	日
対象工期	西暦	2025	年	4	月	5	日	～	2026	年	3	月	10	日

工事名を変更した場合は再入力

工期変更した場合は再入力

※工期変更前に提出した後述する別紙2を再提出する必要はない。

③ 夏季休暇の入力

夏季休暇を取得する場合は、年間3日まで、夏季休暇取得日を入力し、4日目以降は現場閉所(休息)として取り扱い、別紙2に入力する。2年以上実施する工事において、2年目以降夏季休暇を取得する場合は、2年目、3年目の夏休み欄に取得日を入力する。

1 年目	夏季休暇 1 日目	西暦	2025	年	8	月	13	日
	夏季休暇 2 日目	西暦	2025	年	8	月	14	日
	夏季休暇 3 日目	西暦	2025	年	8	月	15	日
2 年目	夏季休暇 1 日目	西暦		年		月		日
	夏季休暇 2 日目	西暦		年		月		日
	夏季休暇 3 日目	西暦		年		月		日
3 年目	夏季休暇 1 日目	西暦		年		月		日
	夏季休暇 2 日目	西暦		年		月		日
	夏季休暇 3 日目	西暦		年		月		日

■別紙2の提出（Excel タブ【別紙2】）

受注者作業

別紙2により週休2日実施状況(当月分)を翌月の5日までに監督員へ報告する。

報告手順は以下のとおり。

① 現場閉所日入力

受注者は、現場閉所(現場休息)日に合わせて、「現場閉所(休息)」欄に「○」を入力する。

雨天により、終日現場閉所(現場休息)とした際にも、現場閉所(休息)として「○」を入力する。

現場閉所（現場休息）実績報告書					別紙 2
工事名 ○○○○○建設工事					
2025年7月1日 ～ 2025年7月31日					
曜日	日付	現場閉所	除外期間	備考	履行確認
火	7月1日				対象日数
水	7月2日				31日
木	7月3日				現場閉所日数
金	7月4日				0日
土	7月5日				0.00%
日	7月6日				
月	7月7日				
火	7月8日				
水	7月9日				
木	7月10日				
金	7月11日				対象日数
土	7月12日				118日
日	7月13日				現場閉所日数
月	7月14日				0日

印刷時にページを指定してください。

ここに入力
※コピー&ペーストはしない

入力時に
をしない
で

② 対象期間から除外する期間の入力

工場製作のみ(現場作業を伴わない)の期間、工事全体の一時中止期間、発注者が特に必要と認めた期間(受注者の責に起因しない現場作業期間)のいずれかに該当する期間は対象期間から除外されるため、その旨を監督員と協議した上で、除外期間の欄に「○」を記載し、除外した理由を「備考」欄に入力する。

※年末年始休暇6日間及び先に入力した夏休み3日間は自動的に除外されます。

また、対象期間から除外する期間における「現場閉所(休息)」欄には、「○」を入力しない。

※対象期間から除外する期間における「現場閉所(休息)」欄は、自動で黒塗りとなります。

曜日	日付	現場閉所	除外期間	備考	履行確認
金	8月9日				累計状況
土	8月10日	○			
日	8月11日		○	災害復旧対応	
月	8月12日				
火	8月13日				
水	8月14日				
木	8月15日				
金	8月16日				

除外理由を簡潔に記載

除外期間に該当する場合は、ここに「○」を記入

黒塗り箇所は入力しない

③ 監督員への提出

現場閉所(現場休息)実績の入力状況を、現場代理人及び主任(監理)技術者が、紙媒体で出力した上で確認し、監督員に提出する。

別紙2は、毎月の履行報告書と共に提出し、履行報告書提出段階で現場閉所実績の入力が完了しているページを提出する。

※紙媒体で出力する際には、ページ指定印刷をしてください。

■別紙2の内容確認(紙媒体)

発注者作業

監督員は「現場閉所(休息)」欄に記載された現場閉所日が、工事週間工程表と一致しているかを確認する。

月

9月15日

火

9月16日

水

9月17日

木

9月18日

金

9月19日

土

9月20日

○

日

9月21日

○

月

9月22日

火

9月23日

○

水

9月24日

木

9月25日

金

9月26日

土

9月27日

○

日

9月28日

○

別紙2

対家口

現場閉
日数

現場閉
対象日

現場閉所

判定

<記載例>

工 事 名 : ○○○○○建設工事
工事場所 : 小田原市○○○番地内

工事週間工程表

工 種 ・ 種 別	9月						
	21	22	23	24	25	26	27
	日	月	火	水	木	金	土
擁壁工 コンクリート打設				No.3 No.3	 ~	No.8 No.5	
	2 1 N						
鉄筋工				No.6 No.6	 ~	No.9 No.9	
	D-16						
化粧				No.6 No.6	 ~	No.9 No.9	
	RC-40						
工				No.6 No.1	 ~	No.9 No.3	
							

現場閉所（現場休息）日が
工程表と一致するか確認

■別紙3の提出（Excel タブ【別紙3】）

受注者作業

週休2日制確保工事の実施結果について別紙3にて報告する。報告方法は以下のとおり。

①別紙3の出力

「入力シート」及び「別紙2」に必要事項を入力すると、自動で作成される別紙3を、提出日を記入し、紙媒体で出力する。

※別紙3は2ページあります。両面印刷で出力してください。

②提出

受注者は、出力した別紙3を2部作成し、監督員に提出する。

別紙3			
両面印刷してください。 〇〇〇〇年〇月〇日 (宛先) 小田原市長 現場閉所履行報告書 提出日を入力してください。			
住 所	小田原市〇〇〇番		
受 注 者	〇〇工業株式会社		
商号又は名称	代表取締役 〇〇 ××		
現 場 代 理 人	小田原 花子		
主 任 (監 理) 技 術 者	小田原 太郎		
電 話 番 号	090-0000-0000		
次のとおり、週休2日制確保工事の実施結果を報告します。			
工事名	〇〇〇〇〇〇建設工事		
工事場所	小田原市〇〇〇番地内		
契約工期	2025年4月1日	～	2026年3月31日
対象期間	2025年4月5日	～	2026年3月10日
提出時に、発注者から收受印の押印を受けてください。 完全週休2日達成 小田原市 〇〇〇〇課 〇年〇〇月〇日 第 〇 号 収 受			
詳細は裏面のとおりです。 (注) 2部作成し、各々保管する。			

「完全週休2日達成」
「月単位の週休2日達成」
「通期の週休2日達成」
「未達成」を自動判定

受注者作業

現場閉所(現場休息)履行報告書【別紙 3】及び最終月の現場閉所(現場休息)実績報告書【別紙 2】は、工事完成届の提出前に提出する。

■別紙3の受領および対応（紙媒体）

発注者作業

①別紙 3 と別紙 2 の整合確認

監督員は、これまで提出された別紙２と別紙３裏面の現場閉所(現場休息)日数及び現場閉所(現場休息)率を突合し、整合していることを確認する。

8月31日

別紙 2

別紙 3 裏面

てください。

備考

履行確認

対象日数

28日

現場閉所（現場
休息）日数

9日

現場閉所
（現場休息）率

32.14%

累計状況

対象日数

36日

現場閉所（現場
休息）日数

13日

現場閉所
（現場休息）率

36.11%

4週8休以上達成

工事日数
（日）

現場閉所
（現場休息）
（日）

現場閉所
（現場休息）
率

7月31日

8

4

50.00%

8月31日

28

9

32.14%

9月30日

30

4

13.33%

10月31日

31

8

25.81%

11月30日

30

13

43.33%

12月31日

28

12

42.86%

1月10日

7

3

42.86%

入力時にコピー&ペーストをしないでください。デ

監督員は、別紙 3 の確認後、内容が問題ない場合には、收受印を押印し、1 部受注者へ返却する。

② 別紙 3 の決裁

監督員は、別紙 2、3 を所属長まで決裁する。

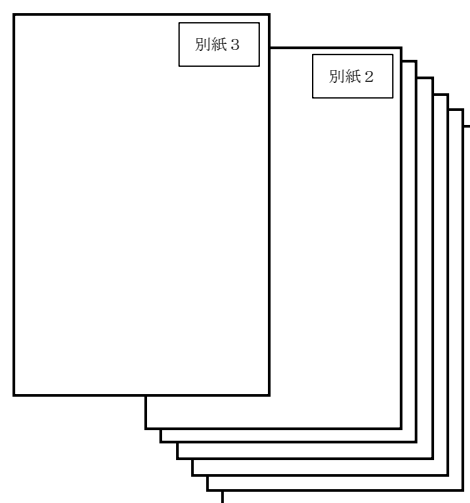
③ 週休2日の達成による工事成績評定への反映

監督員は、小田原市週休２日制確保工事試行要領(建築工事・電気設備工事・機械設備工事)により、週休２日を達成した場合には工事成績評定へ反映し、別紙２、３を原議に綴る。

④ 月単位の週休2日が達成できなかった場合

月単位の週休 2 日が達成できなかった場合でも減点は行わないが、明らかに受注者側に月単位の週休 2 日に取り組む姿勢が見られなかった場合については、小田原市週休 2 日制確保工事試行要領(建築工事・電気設備工事・機械設備工事)により、工事成績評定へ反映する。

また、別紙3による報告の結果、月単位の調休2日が達成できない(なかった)ことを



確認した場合、監督員は別紙 3 及びこれまで提出された別紙 2 を、契約検査課を含め所属長まで回覧し、回覧後は原議に綴る。